

サウジアラビア、自主減産を6月で停止 市況回復に自信

新型コロナ 中東・アフリカ

2020/6/9 3:16 | 443文字

保存 共有 印刷 翻訳 翻訳 共有 ツイート Facebook その他

【ドバイ=岐部秀光】石油輸出国機構（OPEC）盟主であるサウジアラビアのアブドルアジズ・エネルギー相は8日、オンラインの記者会見を開き、OPECとロシアなどで構成する「OPECプラス」の協調減産とは別枠で実施していた独自の減産を6月いっぱいまで停止すると発表した。OPECプラスが協調減産の延長で合意したことを受け、市況の回復に自信を深めていることを示唆した。

「OPECプラス」は6日に会合を開き、6月末までを予定していた日量970万バレル規模の協調減産を7月末まで継続することで合意した。サウジは、原油価格を下支えするため、6月にアラブ首長国連邦（UAE）、クウェートとともにあわせて日量118万バレルの自主減産を実行していた。



画像の拡大

アブドルアジズ氏は「自主減産の目的は果たされた」と指摘した。サウジは7月には事実上、生産を引き上げることになる。

2019年12月のOPECプラスの会合に出席したサウジのアブドルアジズ・エネルギー相（左）とロシアのノワク・エネルギー相=ロイター

6日のOPECの会合では、イラクなど合意を順守していない国へのサウジのいらだちも浮き彫りになった。サウジは合意順守の徹底で圧力を強めていく構えだ。



2020 年 6 月 9 日 担当者: 小孩

サウジ原油 値引き解消

7月積み調整金 4油種割り増し

サウジアラビアの国営石油会社サウジアラムコは、アジア向け原油の7月積み調整金を全油種で大幅に引き上げ、日本の石油会社に通知した。重

質を除く4油種は指標価格に対して割り増しとする。主要産油国の大規模減産と消費国の経済活動再開による需給の引き締めを反映し、これまで

の異例の大幅値引きを4カ月ぶりに解消する。代表油種「アラビアンライト」は指標より1%あたり0・20%の割り増しとし、6月積み比べ6・1%引き上げる。値上げは2カ月連続。軽質の「エキストラライト」も中質の「ミディアム」も同額の割り増し。アジアの製油所の稼働率が徐々に向上し、ガソリンや石油化学向けなどの需要の持ち直しを見込む。

日本の石油会社がサウジと結ぶ長期契約の価格はドバイ原油とオマーン原油の月間平均値を指標とし、油種ごとに調整金を加減して決める。4月6月積みは新型コロナウイルスの影響で石油需要が落ち込みが大きく、主要油種で大幅な割り引きが適用されていた。

2020年7月積みのサウジ産原油の調整金
1バレルあたりドル、+は割増金、-は割引金、カッコ内は前月比増減額

スーパーライト	+1.65	(+7.3)
エキストラライト	+0.2	(+6.7)
ライト	+0.2	(+6.1)
ミディアム	+0.2	(+5.9)
ヘビー	-0.1	(+5.6)

生コン出荷量
4月は7.3%減
7カ月連続マイナス
全国生コンクリート工
業組合連合会（東京・中
央）が発表した4月の全
国の生コンクリート出荷
量は前年同月比7.3%
減の645万1778立
方メートルだった。前年割れは
7カ月連続。

2020 年 6 月 9 日

担当者: 小野

工期 3月 自動車減産で減収 ゴム大手 5社はコロナ影響で未定

ゴム加工大手の2020年3月期決算が出揃った。主力の自動車関連分野では、中国を中心とした世界的生産停滞が影響し、全社減収となった。利益面では、車載品販売減により豊田合成、西川ゴム工業は減益となったが、住友理工は、米国での生産改善や欧州での新規品受注により増益を確保した。半導体・IT関連の需要減からNOK、藤倉コンポジットが減益となった。今期業績予想については、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により現時点では合理的算定が難しいとし

て、各社とも未定とした。フコクは、当初予定時の連結決算確定が困難と判断し発表を延期した。自動車分野の売り上げでは豊田合成は日本が前期比0・5%減、米州が同2・2%減、アジアが同5・8%減、欧州・アメリカが同20・4%減と全地域で減収。西川ゴムは日本、北米で減少したが、中国、東南アジアでは受注増により増収となった。住友理工は、日米欧アジアで減収となり同5・1%減。NOKは建機、工作機需要減も影響し、シール事業の売上高は同7・2%減となっ

た。藤倉コンポジットは、販売減による減収となったが、コストダウンなど内部努力により前年並みの利益を確保した。非自動車関連は、住友理工が国内プリンター部品や建機向け高圧ホースが販売減となり、一般産業用品事業が6%減の減収となった。NOKの電子部品事業は高機能スマートフォン向けの販売減となり営業損失、藤倉コンポジットは半導体・IT関連機器向けの制御機器部門が減収となった。

〔ゴム加工大手5社の2020年3月期決算〕

(単位: 百万円、前年比増減%、▲はマイナス)

	売上高		営業利益		経常利益		純利益	
豊田合成※	812,937	▲3.3	17,888	▲51.0	16,106	▲56.9	11,226	▲51.8
NOK	626,815	▲6.4	12,028	▲48.0	17,373	▲44.2	▲2,218	—
住友理工※	445,148	▲5.2	8,898	671.6	7,435	961.5	881	—
西川ゴム工業	97,267	▲1.2	16,848	▲11.3	7,489	▲11.5	4,486	▲8.7
藤倉コンポジット	31,999	▲4.3	891	▲2.8	833	▲0.6	390	▲32.7

※豊田合成、住友理工はIFRS



ウメモト インフォメーション



2020 年 6 月 9 日

担当者: 小松

酸化チタン 200^g値上げ

石原産業

石原産業は、7月1日
からアジア・パシフィッ
ク地域で酸化チタン「T
IPAQUE」(タイプ
ク)を値上げする。改定
幅は1^{kg}当たり200
^g。原材料のチタン鉱石
の価格が上昇しているた
め価格改定を決めた。